

# 研究所セミナー

## 2000年和漢薬研究所セミナー記録(22回開催)

- 第157回 1月19日(水) 藤多哲朗博士(摂南大学薬学部 教授):  
新規免疫抑制剤F TY 7 2 0酵素免疫法の開発
- 第158回 1月20日(木) 高石喜久博士(徳島大学薬学部 教授):  
ニシキギ科及びウズベキスタン産薬用植物に含まれる成分について
- 第159回 2月14日(月) 野村太郎博士(東邦大学薬学部 教授):  
プレニルフラボノイドの化学と生合成
- 第160回 2月25日(金) 高橋直之博士(昭和大学歯学部 助教授):  
破骨細胞の分化と機能を調節するサイトカイン
- 
- 第161回 3月1日(水) 梶本哲也博士(東京農工大学工学部 助教授):  
天然パワーを利用した糖および糖鎖の類似体合成
- 第162回 3月3日(金) 工藤忠宏博士(第一薬科大学 教授):  
新規の選択還元を含むヨウ化サマリウムによる各種官能基の迅速還元反応
- 第163回 3月3日(金) 丸山征郎博士(鹿児島大学医学部 教授, 和漢薬研究所 客員教授):  
外邪と生体: 太陽病の分子生物学
- 第164回 3月9日(木) Dr. Yeong Shik Kim (Assoc. Prof., Natural Products Research Institute,  
Seoul National University, Korea):  
A novel type of glycosaminoglycan from the giant African snail *Achanthina fulica*
- 第165回 3月13日(月) 矢澤一良博士(相模中央化学研究所 主席研究員):  
バイオベンチャーの現状とDHA
- 第166回 3月15日(水) 吉崎克明博士(秋田大学医療技術短期大学 教授):  
ラット子宮平滑筋収縮に対する芍薬甘草湯作用の血清薬理的研究
- 第167回 3月15日(水) Dr. Ashwani Kumar (和漢薬研究所 客員教授):  
Some potential plants for bioenergy medicine from India. Role of PEPCASE in improving productivity *in vivo and vitro*
- 木村孟淳博士(第一薬科大学 教授):  
麻黄鑑定のためのちょっとした工夫。麗江麻黄はもう一つの麻黄足り得るか
- 第168回 3月17日(金) 玄蕃宗一博士(大阪薬科大学 教授):  
フリーラジカル性腎細胞障害への細胞内カルシウムとシグナル物質の関与
- 第169回 3月17日(金) 鍋島一樹博士(宮崎医科大学医学部):  
Cohort migration of carcinoma cells
- 第170回 3月17日(金) 遠藤 仁博士(杏林大学医学部 教授):  
癌細胞の「兵糧攻め」を可能にする新しい抗腫瘍薬の標的分子
- 
- 第171回 3月21日(火) Dr. Giulia Puia (Prof.: University of Modena, Italy):  
Neurosteroid modulation of excitatory and inhibitory amino acid receptors
- 第172回 3月23日(木) 奥 直人博士(静岡県立大学薬学部 教授):  
がん転移過程のビジュアル解析と腫瘍新生血管標的化DDSによるがん治療
- 第173回 6月23日(金) Dr. Norman R. Farnsworth (Prof. University of Illinois at Chicago,.):  
A Regulatory Dilemma: The Current Status of Botanical Dietary Supplements in the U.S.A.
- 第174回 7月11日(火) 磯浜洋一郎博士(熊本大学薬学部):  
麦門冬湯の薬理
- 第175回 7月17日(月) 丸山征郎博士(鹿児島大学医学部 教授, 和漢薬研究所 客員教授):  
ポストゲノム時代の漢方
- 第176回 10月31日(火) 森元康夫博士(鐘紡株式会社漢方ヘルスケア研究所, 主任研究員):  
生活習慣病に対する漢方薬・防風通聖散の有用性. 肥満・糖尿病病態モデルでの実験結果を中心に
- 第177回 12月8日(金) 渡部 烈博士(東京薬科大学薬学部 教授):  
ソリブジン薬害の発生メカニズムとその教訓
- 第178回 12月13日(水) 許 端祥博士(国立台湾大学農学部農芸化学 教授):  
Recent Advances in Molecular Systematic of the *Ganoderma lucidum* Complex and *Cordyceps sinensis*